

# プロジェクト課題活動実績

## 課題名 集落営農法人連合体の育成・経営力強化

長門農林水産事務所農業部      チーム員：安良田、垣内、品川、松富、岡田、中村<sup>明子</sup>、窪田

### <活動事例の要旨>

集落営農法人のオペレーターの高齢化、法人単独では雇用が困難といった、多くの共通課題の解決策の一つとして集落営農法人連合体（以下、連合体とする。）の設立を図った。その結果、三隅地区、油谷地区、長門地区で連合体が設立に至った。

これらの連合体の経営を維持・発展するため、航空防除事業に加えて、水稻育苗事業、農作業受託事業、野菜生産事業等の新たな事業の展開について提案と実施に向けた調整を行った。その結果、3連合体ともに経営の柱となる新たな事業が展開されるようになった。

また、連合体の経営を拡大するとともに、構成法人の経営を支援するため、専任従事者の確保に向けた取り組みを展開した。その結果、(株)長門西では、平成30年に1名の正社員を雇用することになった。また、(株)三隅農場、(株)アグリベンチャー俵山ともに正社員の雇用には至らなかったが、従事日数150日以上パート従業員を確保することができた。そして、これらの従業員について、業務量や業務内容等の聞き取り調査を行いながら資質向上につながるよう支援を行った。

## 1 普及活動の課題・目標

### (1) 課題

平成28年に実施した法人聞き取り調査から、「構成員とオペレーターの高齢化」、「法人単独では雇用が困難」等、多くの共通課題があることが明らかになった。そこで、それらの課題を解決する対策の一つとして集落営農法人連合体（以下、連合体とする。）の設立を図った。その結果、平成29年に三隅地区、油谷地区、平成30年に長門地区で連合体が設立に至った。

これらの連合体の経営力を強化し、専任従事者の確保に向けた経営を展開するため、航空防除面積の拡大、さらなる新規事業の取り組みについて検討する。併せて、専任従事者の資質向上のためOJT研修等を実施する。

### (2) 目標(令和2年度)

目標項目	基準年 H29 (2017)	目標 R2 (2020)
連合体設立	2	3
受託作業面積の拡大(ha)	100	645
新たな事業展開	0	4
専任従事者等の確保(人)	0	3

## 2 普及活動の内容

### (1) (株) 長門西

#### ア. 新たな事業展開

結びつき米の生産拡大を図るため、水稻育苗事業を展開しており、約 5,000 箱の水稻苗が構成法人に販売された。この水稻育苗事業では、構成法人の役員等が作業に従事することで、構成法人間の連携と仲間意識の醸成を図った。

また、専任従事者による農作業受託事業は、適期作業を実施することで構成法人の経営を安定させることに貢献できた。令和 2 年度の農作業受託面積は、延べ 155ha に至っている。これらの農作業受託事業を展開するにあたっては、構成法人の希望と専任従事者の作業可能量を調査し、構成法人の要望が公平に聞き入れられるような受委託体制の整備を行った。さらに、新たな受託作業や構成員以外の受託開始について提案を行った。

#### イ. 専任従事者の確保・育成支援

専任従事者 1 名に対して定例会や取締役会等を通じた業務の進行管理や業務に対する個別相談対応等、農業経営者としての育成を支援した。

### (2) (株) 三隅農場

#### ア. 受託作業の拡大支援

令和 2 年度は航空防除面積が大幅に拡大したことから、安全な航空防除事業を展開するため、操作研修会や安全講習会の開催を誘導した。また、オペレーターが働きやすい環境を整備するため、要望調査を実施したうえで、改善策の提案と協議を行った。

#### イ. 新たな事業展開

構成法人の中での課題の一つとして「畦畔の草刈り作業の軽減」があった。そこで、解決策として「ラジコン草刈機による作業受託」について提案した。そして、機械の実演会を実施し、構成法人から評価についての聞き取りを行った。しかし、実施した実演機では省力化効果は認められたが、導入にあたってはまだ課題があるとされ、導入には至らなかった。

#### ウ. 専任従事者の確保・育成支援

航空防除オペレーターや事務員を農作業受託オペレーターとして育成することで専任従事者として雇用することを検討するため、意向調査等を実施した。その中で、航空防除オペレーターのうち 1 名がその意向を示した。今後、大豆コンバインの専属オペレーター等として育成していく方向で調整を開始した。

### (3) (株) アグリベンチャー俵山

#### ア. 新たな事業展開

水稻育苗の省力化を図るため、プール育苗を提案したが、パート従業員の雇用確保と苗質の向上を図るため、取り組まないこととなった。また、水稻苗運搬の作業負荷が課題となっていたため、「アシストスーツ」による作業負荷軽減のための実演会を提案・実施した。試用・試着後はアンケートを実施し、実用性を評価した。しかし、試用及び試着したアシストスーツ 5 機種ともに実用レベルに至らず、導入は見送られた。

水稻畦畔管理の作業受託について検討するため、省力化技術である除草剤の混用による畦畔雑草管理作業の実証や遠隔操作が可能なラジコン草刈機の実演を行ったが、除草剤、ラジコン草刈機ともに、実用レベルには至らず導入は見送られた。

雇用者2名の労働状況調査を実施し、業務量を増やせる時期を確認した。そして、余裕のある冬季業務として、「はなっこりー」の育苗及び作付けをすることとなり、栽培指導を実施した。さらに、業務量を増加させるため野菜苗の受託事業について検討を行った。

#### イ. 専任従事者の確保・育成

連合体に雇用されている2名から、現状での業務量と連合体事業への従事に係る意向について聞き取りを行った。その結果、1名からはさらなる従事日数の増加についての要望が示された。

また、構成法人の労働力確保の現状と地域内にある業務について調査を行い、連合体として展開できる新たな事業について検討を行った。

### 3 普及活動の成果

#### (1) 目標(令和2年度)に対する実績

目標項目	基準年 H29 (2017)	目標 R2 (2020)	実績 R2 (2020)
連合体設立	2	3	3
受託作業面積の拡大 (ha)	100	645	759
新たな事業展開	0	4	4
専任従事者等の確保(人)	0	3	3

※連合体設立：(株) アグリベンチャー俵山：平成29年7月設立

※受託作業面積：航空防除面積 (株) 長門西 300ha、(株) 三隅農場 329ha  
(株) アグリベンチャー俵山 130ha

※新たな事業展開：(株) 長門西：水稻育苗、(株) 三隅農場：水稻育苗  
(株) アグリベンチャー俵山：水稻育苗、はなっこりー生産

※専任従事者：(株) 長門西：1名

(株) 三隅農場、(株) アグリベンチャー俵山

：従事日数150日以上のパート従業員 各1名

#### 4 今後の普及活動に向けて

連合体の経営力を強化するため、引き続き、既存事業の拡大と収益性向上に取り組むとともに、新規事業の展開を検討・支援する。

さらに、連合体の機能を強化するため、構成法人と連合体の経営課題を改めて整理し、お互いの役割分担を明確にして共通認識を持ち、今後の営農方針を示した中期経営計画を策定し、10年後も地域農業を維持・発展できる営農体制整備を進めていく。